

統一地方選に向け氣勢

県選出自民国会議員新春のつどい



「がんばろう」三唱で、統一地方選勝利への機運を高めた石破茂衆院議員(右)ら=12日、とりぎん文化会館梨花ホール

鳥取県選出の自民党国会議員による合同新春懇談会「新春のつどい」が12日、県内3会場で開催された。石破茂、赤沢亮正両衆院議員、

舞立昇治、藤井一博、青木一彦参院議員が顔をそろえ、4月に控える統一地方選に向け氣勢を上げた。東部会場には党員や支援

者ら約700人が来場。石破氏は統一地方選に向けて「公認、推薦の立候補者全員の当選を目指し、全力を尽くす」と宣言し、赤沢氏はウクライナ侵略に触れて国防強化の必要を説き「憲法改正の議論をしっかりとやりたい」と力を込めた。

舞立氏は合区解消問題を巡り「憲法改正しない限り根本的な解決には至らない」と指摘。藤井氏は「県民目線、地方目線で役に立ってようまい進する」と職務精励を誓い、青木氏は夏の参院選での支持に謝意を示し「合区を解消し、あ

また県知事選で5選に挑む現職の平井伸治知事や、同党公認・推薦の県議選立候補予定者が選挙に向けた決意を表明。石破氏らと共に壇上で拳を突き上げた。

(福谷二月)

コロナ前と遜色ない内容で

打吹回廊(同市天国にするくら

期間中、市内各地で32のイベントを繰り広げ、倉吉のにぎわいを取り戻す。広田市長は「まつりは「くらよしの花を咲かせようプロジェクト」と銘打ち開催。打吹公園を盛り上げた。園に大小計385個のぼんぼりを点灯